



“いつも”の暮らしが“もしも”の備え

災害時に避難所ではなく家で過ごせるほうが安心ですよ。在宅避難*をするためには、家庭での食料備蓄が大切です。備蓄量は7日×人数分が望ましいと言われていますが、“もしも”を想定して災害のためだけに食料を備えるのは大変です。

そこで積水ハウスは、“いつも”の暮らしで食料の管理をする「ローリングストック」をおすすめしています。「ローリングストック」とは、普段の食料を少し多めに買い置きして、備える→消費する→買い足すのサイクルで食料を管理する方法です。

また、太陽電池・燃料電池・蓄電池があると、日頃の節電になるだけでなく、非常時でも日常と同じように電気を使って温かいご飯を食べることができます。

わざわざする“もしも”の備えから、日々の暮らしに取り込みやすい“いつも”の備えで、快適で安心な暮らしにアップデートしてみませんか?

*災害時において、自宅に倒壊や焼損、浸水などの危険性がない場合、そのまま自宅で生活を送ること。

ローリングストックのポイントと収納例（4人家族の場合）



太陽電池・燃料電池・蓄電池があればできること!



▼電気停止時に使える電化製品

- 冷蔵庫
- ガスコンロ/IHコンロ
- 電子レンジ
- 電気ケトル
- 炊飯器